

朝



朝倉市勢要覧
Outline of Asakura City

倉

ここは豊かさに近いまち



近さがうれしい朝倉スタイル。

近い—— その言葉を聞くと、
「便利」という二文字が思い浮かびませんか。
コンビニエンスストア、家電量販店、
飲食の大手チェーン店、大型商業施設、
どれも近くにあれば、とても便利です。
ただ、それは「豊かさ」とは少し違う気がします。

「豊かさ」とはなんでしょうか。
日々の中で「豊かさ」を感じる瞬間……
そう考えながら目を閉じると、澄み渡る青空、
太陽の光を受けて色濃く浮かび上がる緑の森が
真っ先に思い浮かびました。
日々の中で自然、そして四季を感じる生活こそ、
「豊かさ」ではないでしょうか。

When we hear the adjective close, we are reminded of the word convenient. Being convenient, however, feels a bit different from a state of richness. At what moment do we feel richness in our daily lives? You may say that your life has richness if you live under a clear blue sky and close to a green forest that shines vividly in sunlight, and you feel the natural beauty and alternation of the seasons in your daily life. Asakura is a city that can provide richness close to the ideal concept of richness. You will feel that the sky is close to you and it seems as if you could reach your hands to the evening sun and starry sky in this city. Being close to nature means being close to vegetables and fruit. The distance to each producer is short. Therefore, people take it for granted that they can get local fresh vegetables. A city where people can live close to nature, ingredients, leisure, and other people share the same sense of values—that is Asakura.

朝倉市は、そんな「豊かさ」に近いまち。
市の北、東西の三方を山々に囲まれ、
南には九州一の規模を誇る筑後川が流れています。
ちょっと足を伸ばせば近くで登山、ハイキングが楽しめる。
空は近く、夕日にも、星空にも手が届きそう。
自然に近いということは、野菜や果物とも近いということ。
生産者との距離が近く、地元産の新鮮な野菜が普通に手に入る。
それが当たり前の暮らしになり、
同じ町で暮らす人々にもやさしくなれます。
自然、食材、レジャー、人、そして文化。
それら全てに近い暮らしができる場所。
それが朝倉市です。

朝倉





P3

特集 1

水に近い

清らかな水が支える豊かな暮らし

朝倉市は水の町。豊かな森林に育まれた水を貯えるダムがあり、その恵まれた水源は福岡市や久留米市へも供給されているのです。山水は幾つかの川を辿って筑後川へ。市内を巡っていると、水の近さが実感できます。

Asakura is a city of water. There is a dam that makes use of water held by forest. Blessed with water, Asakura can supply its water to other municipalities, such as the City of Fukuoka, as well.



P7

特集 2

食に近い

魅力溢れる食材が身近にある暮らし

水は人々の体だけでなく、大地も潤します。水が十分に行き渡った大地では、日々、米、野菜がすくすくと育っています。朝倉市で暮らすこと。それはそんな恵まれた食材の魅力とも最も近い場所で接することを意味します。

Agricultural products such as rice and seasonable vegetables grow in Asakura. People can get the charm of privileged food in places that are the closest to the areas of production.



P11

特集 3

感動に近い

受け継がれる歴史に抱かれた暮らし

豊かな水、そして食を擁す朝倉市。五穀豊穡に感謝するお祭りも各地で執り行われています。祭りのそばには、寺社仏閣が存在し、伝統が脈々と受け継がれているのです。神、自然への感謝の気持ちが自ずと湧き上がってきます。

Thanksgiving festivals for bumper crops are held in various areas. Tradition is inherited from time to time in this place.



P15

特集 4

人に近い

やさしさに包まれる穏やかな暮らし

五感を豊かにする大自然、日々の豊かな食、それらを通じて笑顔になれる朝倉市には、同じように笑いあえる人々が集まります。価値観が近い者同士は、その心の距離も近いものです。暮らしの中でやさしい心も育れます。

Asakura is a city where beautiful nature and plenty of agricultural produce will bring smiles to people. People who share the same sense of values gather here.

P21

資料編

数字で見る朝倉市

Statistical data of Asakura City

P25

朝倉市の概要

市章、市民憲章、市の花・木

Asakura City Information

筑後川中流域の山田堰





おいしい水は、大人はもちろん、子どもにとっても嬉しい存在です。
Clean and delicious water is a pleasing present for all people.

水に近い

美しい水が潤いのある暮らしをもたらす

人間の体は、大部分が水できていると言われています。日々、摂取している水が、自身の体を形作っているのです。人間だけではなく、足元に広がる大地にとっても水は命の源。水が変われば、体が、大地が変わっていく。そう考えると、水は命そのものだと言えます。蛇口をひねると流れ出るおいしい水は、何よりの贅沢です。

Human beings need water and so do all other living things. Water is the source of life on the earth that spreads out at your feet. Nothing is more luxurious than using clean and delicious water that flows out when turning the faucet.



清らかな川の水をじっと見ていると吸い込まれそうになります。

When you look at clear water, you may feel like you could be sucked into it.



市の北東、高木地区の川で遊ぶ子どもたち。山がたっぷり蓄えた雨は岩清水となって川へ。ほんのりと冷たく、清々しい気持ち良さです。川にざぶんと突っ込んだ足は、その肌色がくっきりと浮かび上がり、流れる水の透明度が実感できます。

Children are playing in the river in the Takagi district in the northeast of the city. The color of the feet inside the river clearly emerges and you can feel the transparency of the water flowing here.



1/朝倉市の水は大地を潤し、多種多彩な野菜や果物を育てています。柿、ぶどう、梨、リンゴといった果物はフルーツ狩りとして親子で楽しむことができます。2/初めて朝倉市に来た人々は様に、蛇口から出るそのままの水のおいしさに驚きます。3/筑後川の鵜飼は716年頃には始まっていたという歴史ある伝統漁。原鶴温泉では毎年5月20日から9月末にかけて鵜飼が実施されています。期間中なら、屋形船に乗って間近で鵜飼見学が可能。縦横無尽に水の中に潜り、魚を飲み込んでくる鵜の名人芸は一見の価値があります。屋形船への乗船は午後8時30分から。

1/ Asakura's water raises various kinds of vegetables and fruit. 2/ People who come to Asakura for the first time are surprised at the fresh taste of faucet water. 3/ Traditional cormorant fishing in the Chikugo River has been continuing since around 716. Every year, it starts on May 20 and ends at the end of September. You can see cormorant fishing from a houseboat during the period.

豊かな水に近い暮らしは、あらゆるシーンが贅沢に

人も、大地も、 水が穏やかに満ちます。

なぜ朝倉市にはおいしい水があるのか。まず、朝倉市は自然環境に恵まれています。北に古処山や屏山、馬見山といった山々が連なり、これらに林立する木々が雨水をぐくりと飲み干し、大地へと届けています。こうして蓄えた水は、小石原川や佐田川といった川を介し、市内を潤しながら筑後川へ。自然の力をうまく活用し、北から南へと水を誘う動線がしっかりと設けてあるのです。

そして、そんな天然の水を市民に還元できるような工夫が時代とともになされてきました。

例えば、江戸時代に造られたかんがい施設

で、大小の石を川の流にそって斜めに敷き詰め取水する、山田堰。そして、川よりも高い位置にある土地へと用水を引くための堀川用水と水車群。これらは、この地で古くから水とうまく付き合っていくことが考えられてきた一つの証と言えます。

寺内ダムと江川ダムは朝倉市が誇る2大ダムです。寺内ダムは、見た目にも美しいロックフィル型のダム。江川ダムは筑後川初の本格的な利水ダムとして知られています。2つのダムに蓄えられた水は、主に農業用水や水道用水、工業用水として活用されています。2つのダムが機能することで、豊富な水を蓄えることが可能になりました。現在、3つ目のダムとして小石原川ダムも建設中。平成32年の完成を目

指しています。

今では余りある水が朝倉市の大きな財産に。実は余剰の水は、福岡市や久留米市へも送られています。“福岡の水瓶”と称される所以です。

朝倉市の水といえば、温泉の存在も忘れてはなりません。福岡県下随一の湧出量で知られる原鶴温泉は、これまで数えきれない人々の疲れを癒してきました。温泉旅行に行かずとも、市内で気軽にその魅力を楽しむことができるのも朝倉市の魅力です。

清流がせせらぐ川での水遊び、蛍鑑賞は子どもたちの一生の思い出となるでしょう。

水に近い暮らしは毎日が色彩豊か。遊びも、暮らしも透明な水とともに。

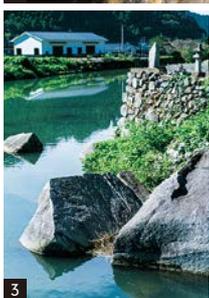
Asakura is blessed with the natural environment. There are mountains, including Mt. Kosho, Mt. Hei, and Mt. Umami lined in the north. The forest trees in the mountains hold and deliver rainwater to the earth. Asakura has ideas to return the profit of natural water to citizens. There are two large dams in the city, and the stored water in the dams is mainly used for agricultural, daily life, and industrial purposes. Furthermore, thanks to the two dams, Asakura has been able to store as much water as it can in the city. Besides the dams, there are many irrigation facilities, and people in Asakura have been thinking of how to get along well with water through the ages. The Harazuru hot spring known for the largest amount of spring water in Fukuoka Prefecture serves hot water to relieve fatigue as well.



朝倉市の北東、高木地区に暮らす岩下さん。結婚してここで暮らすようになり、60年が経ちました。「当時、真っ先に水の美味しさに感動したのを覚えています。ここは朝倉市の中でも特に水がおいしい地区として知られていて、60年間で一度も水が途切れたことはありません。夏は冷たく、冬はあたたかい。ほんに手にやさしい水ですよ」。

Ms. Iwashita has been living in the Takagi district northeast of Asakura for 60 years. She says: This district is known for its water that is particularly delicious in Asakura. The water is cold in summer and warm in winter. It is truly hand-friendly water.

Water Spot



- 1/夕暮れの山田堰。先人が残した貴重な農業遺産です。
- 2/原鶴温泉は異なる2つの泉質を合わせ持つW美肌の湯で知られます。
- 3/女男石護岸施設。2つの巨石に水をあて水の勢いを削ぎます。
- 4/観光名所としても人気の三連水車。

The grace of Asakura's water is found in various places and scenes. There are historic sites where Asakura's water demonstrated its power for irrigation and flood control, water mills that bring abundant water to farmland, and the hot spring with touchable hot water that works well on the skin.

日々の暮らしを豊かにするさまざまな水

わたしと朝倉

筑前秋月和紙処
井上 賢治さん

明治9年に創業した和紙処の4代目です

混じり気のない澄んだ水が和紙には欠かせません。



秋月の和紙は戦国末期からの歴史があり、最盛期には和紙処が20軒くらいありました。和紙の原料となる楮(こうぞ)が豊富だったんですよ。あとは空気と水。ここは涼しくて水がきれいなんです。楮を4時間くらい炊いて繊維にして、それを昔からのやり方で丁寧に漉いて和紙にしていくなのですが、真水でないと紙自体の持ちが悪くなるし、発色も悪い。余分なものが入ってないから、強い紙になるんです。この辺りは城もあったから川の氾濫には十分に注意が払われてきました。その結果、護岸に優れた土地となり、こうして良質な水の恩恵に与れるんですから、ありがたいですね。

Akizuki's traditional handmade paper has had a long history since the age of provincial wars. I boil paper mulberry for about 4 hours to make it into a fiber, and I carefully filter and make it into Japanese paper. However, unless fresh water is used, the paper will not last long and its color development will not occur. This work could not be accomplished without the benefits of good-quality water.





食に近い

肥沃な大地が食の恩恵をもたらす

豊かな水の恩恵を受ける朝倉市では、一年を通して多彩な野菜、果物が栽培されています。豊潤な大地の上で暮らすことは、産地に暮らすということ。いつでも新鮮な産直野菜・果物が手に入る環境は、おいしい水がいつでも手に入るのと同様に、嬉しいものです。食に近いと、健康にも、おいしいにも近いことが実感できます。

Various types of vegetables and fruit are cultivated throughout the year in Asakura, which benefits from enough water. The environment where people get fresh vegetables and fruit at any time is delightful.



蓼(たで)の栽培が盛んな朝倉市。そのシェア率は全国の7~8割で、市内の8世帯の生産者たちによって支えられています。写真下はいち早く蓼栽培を始めたご家族。「蓼の栽培で最も重要なのが水で、常にたっぷり必要とします。水が豊富な朝倉市は打って付けですね」

The cultivation of water peppers is popular in Asakura, which is supported by eight households that occupy a production share of 70% to 80% in the nationwide market. Asakura's enough water is useful in the cultivation of water peppers as well.





野菜作りにおいて恵まれた環境の朝倉市。生産者の数も多く、顔が見える野菜たちは「三連水車の里あさくら」「ファームステーションバサロ」といった直売所で手軽に購入できます。家庭菜園を楽しむ人も多く、写真のような採れたての野菜が食卓に並びます。

Asakura has many producers of vegetables. People find it easy to purchase vegetables at direct sales outlets in the city, where they will be able to see the profile of each producer. Asakura is characterized by residents who enjoy home gardening as well.

旬の食材は季節の移ろいも教えてくれる

魅力溢れる食がある暮らし。

もぎたての果物、収穫されたばかりの野菜の美味しさは万国共通の喜びです。それが旬のものであれば、その喜びは一層大きくなります。

現代では、野菜や果物を季節に関係なく手に入れることができますが、旬の食材には、その時期に必要な栄養素を補ったり、味が一段と優れたりするなど、私たちの体を健やかに保つ魅力が備わります。できることなら、旬の食材を選びたい。それが日常の中で自然にできるのが、朝倉市です。

朝倉市は県内有数の農業地域。4600ヘクタールもの耕地面積を誇り、平野部、山間地

など市内のいたるところで、米、小麦、大豆、いろとりどりの野菜や果物が栽培されています。平野部は朝倉市が誇る豊かな水により、その土壌が肥沃となり、収穫される農作物は質が高いとされています。一方で梨や柿などが栽培される山間地は昼と夜の寒暖差が大きく、豊かな水という恩恵も加わり、甘い果実がたわわに実るのです。

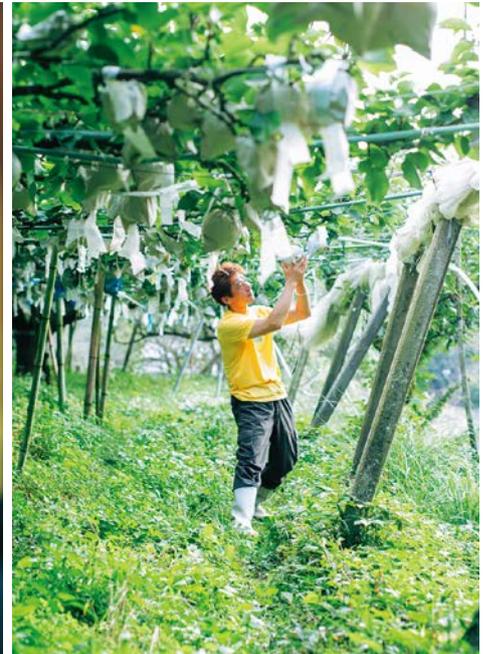
市内各地に点在する直売所では、そのような「朝倉印」の農作物を気軽に購入することができます。流通するのは、生産者の顔が見える安心安全な野菜や果物ばかり。その味わいはどれも格別です。

また、朝倉市を流れる清らかな水によって

生まれた食もあります。清流にしか生息しないことで知られる淡水のり「スイゼンジノリ」、冷たい天然水に何度もさらすことで仕上げられる葛は、いずれも朝倉市ならではの食です。

朝倉市では、地元産の農産物を積極的に販売・活用するお店を「あさくら地産地消推進店」として認定。自宅はもちろん、市内のレストランでも、採れたての新鮮な食材を口にできる機会が多く、これも朝倉市で暮らす上で嬉しいポイントです。山あいには緑豊かなロケーションを生かした食事処があるほか、フルーツ狩りが楽しめる果樹園も点在。日々の中で、豊かな食の近さを実感できること請け合いです。

Asakura is one of the prefecture's largest agricultural areas and it boasts a cultivated land area of 4,600 hectares. Rice, wheat, soybeans, vegetables in various colors, and fruit are raised everywhere in the plain, mountainous, and other areas in the city. Asakura's enough water makes its plain area fertile and crops harvested are evaluated to be of high quality. On the other hand, the mountainous area where pears and persimmons are cultivated has a large temperature difference between day and night. Furthermore, with the benefits of Asakura's enough water, sweet fruit is brought up. Suizenjinori, an edible waterweed, is known to be growing only in clear streams. Kuzu, an edible perennial vine, is processed and finished by exposing it many times with cold natural water. Both are unique to Asakura.



高木地区で20種の梨を栽培している「コロコロ梨工房」の林泰さん。「ここは朝晩で15～20℃もの寒暖差があり、土の水はけが良く、さらにおいしい山水も流れ、果物を育てるのにこの上ない場所です。どの梨も糖度が高いですよ」。

Korokoro Nashi Kobo cultivates 20 types of pears. This place has a temperature difference of 15°C to 20°C between day and night. It is a place not to be missed for raising fruit.



朝倉市には菱野三連水車、三島二連水車、久重二連水車という自動回転式の重連水車が点在。それぞれが豊かな水によって農地を潤す役目を果たしてきました。その面積は35ヘクタールにも及びます。

Asakura is dotted with multiple waterwheels of automatic rotary type, i.e., the Hishino triple waterwheels, Mishima double waterwheels, and Hisashige double waterwheels. Asakura's enough water moistens its farmland.

Asakura's Food



1



4



5



2



6



3

バラエティに富む朝倉の食たち

- 1/朝倉市は畜産も盛んです。
- 2/朝倉の青ネギは「博多万能ねぎ」というブランド名が付けられ、全国へと出荷されています。その出荷量においても全国有数なのです。
- 3、4/アスパラガスやトマトも朝倉市が誇る農産物です。
- 5/博多ヒオーネ、博多ベリー、巨峰といったさまざまな品種のぶどうが収穫されています。
- 6/淡水のり「スイゼンジノリ」は現在、日本でこの朝倉市の黄金川にしか自生していない希少な食べ物。江戸時代から高級食材とされてきました。

Asakura's dairy farming as well as crops, including vegetables and fruit, are famous. A rare edible water plant called suizenjinori that inhabits only Asakura in Japan is one of the attractions.

わたしと朝倉

柿農家
本園拓也さん

お尻の部分が赤い
果実が甘いですよ

一言に柿と言っても
生産者、育て方が違えば
味もガラリと変わる。



祖父が柿農家をはじめ、私で3代目です。40アールの柿畑があり、年間約8トン収穫しています。1本の木におよそ500玉実り、出荷時期になると母と私一つひとつ収穫しているんですよ。主要な銘柄は富有柿、早生富有柿で、最近、その甘さがメディアなどで度々紹介されている秋王も育てています。朝倉市には何と言っても肥えた良質な土壌がありますから、野菜や果物の生産者の数も多い。切磋琢磨できる環境があるからこそ、質も高いんだと思います。柿一つとっても、場所が異なる畑ごとに味がガラリと変わりますからね。うちはクロレラ栽培を取り入れるなど、工夫しています。



My grandfather started persimmon farming, and I am the third-generation persimmon farmer. My mother and I have a persimmon field of 4,000 square meters, where we harvest approximately 8 tons of persimmons annually. Each tree bears approximately 500 persimmons, and my mother and I take them one after another before shipping. Asakura has fertile soil, and there are many vegetable and fruit producers. I think that Asakura's environment where all farmers are in friendly rivalry makes high-quality produce.

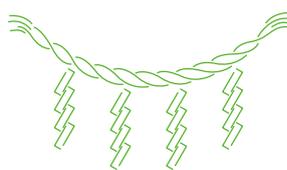




左／別名「黒門」と呼ばれる秋月城本門は江戸時代前期の建造。福岡県指定有形文化財に指定されています。秋は周囲の木々が黄金色や紅色に染まり、紅葉の名所として愛されています。上／例年、小石原川の甘木橋下流で8月末に実施される甘木川花火大会。花火終了直後には「流灌頂」という慰霊祭が開催されます。甘木川に流される灯ろうは静かで、幻想的です。

Left/ The Akizuki Castle Gate, which is also called Kuromon (lit. a black gate) was built in the early Edo period. People like this area for its beautiful red leaves in autumn. Top/ The Amagi River Fireworks Festival is held downstream of the Amagi Bridge over the Koishiwara River at the end of August. A memorial service is held after the fireworks.

感動に近い



受け継がれてきた歴史とともにある暮らし

豊かさと祭りは密接な関係があります。多くの祭りは五穀豊穡を願うもの。伝統的に長く受け継がれている祭りは、豊かさが長く続いていることを意味します。朝倉市で執り行われている祭り、伝統行事を通じて、この町の魅力を感じてみてください。中には、毎年大勢の人々が県内外から見物に訪れるような奇祭もあります。

A traditional festival inherited for a long time in an area means that the richness of the area has been going on for a long time. Feel the charm of Asakura through festivals and traditional events held in the city.



10月21日に実施される壺城くんち。美奈宜神社の御神幸の際、獅子舞が奉納されます。獅子が子どもの頭をかむと病気にかからず、勇猛に暴れると豊作になると言われます。この獅子はシュロで編んだ“み”におおわれているのが特徴。みのは県内初の選定保存技術保持者、シュロ縄職人・井上輝雄さんが手掛けました。

Hinashiro Okunchi features a shishimai (lion dance), dedicated on October 21 every year. It is said that a child's disease will be healed if the lion bites the child's head and that the lion's brave dance will bring bumper crops. The palm bark (called shuro) covering the lion's mask were made by an artisan, who has been certified as a selective preservation technique holder for the first time in the Fukuoka prefecture.



おしろい祭りは毎年12月2日に開催。大山祇神社を「山の神」とし、山の神は本来「女の神様」と言われています。その「女の神様」がお化粧をする事を「おしろいを塗る」というのです。おしろいは、新米を粉にして水でといたもの。この祭りでは、酒で火照った顔におしろいを塗り、そのつき具合によって翌年の作柄をみます。おしろいは家に帰るまで落とさず、牛馬の飼料に混ぜると無病息災になると言われています。

Oshiroi Matsuri is held on December 2 every year. Oshiroi (white powder) is made from new rice that is ground into flour, dissolved, and put on the face. In this festival, people paint their faces flushed with sake (Japanese rice wine) and forecast the crops of the next year from the painted patterns of their faces.



泥打祭りは福岡県の無形文化財に指定されています。例年、3月第4日曜日に実施され、御幸幸(泥打ち)は15時頃から始まります。

Dorouchi Matsuri is designated as an intangible cultural asset of Fukuoka Prefecture. This festival is held on the 4th Sunday of March every year.



土地に息づく文化・伝統が笑顔をもたらす

受け継がれてきた伝統が心を揺さぶり、感動を生む。

朝倉市では一年を通してさまざまな祭事、行事が催されています。祭りとはその土地土地で脈々と受け継がれてきた文化の形。数十年、数百年と続き、人々をつないできた文化的な祭事や行事との触れあいは、言葉にならない感動を呼び起こすものです。

例えばその一つが、三奈木くんち、蜷城くんちをはじめ、市内数カ所で開催される秋のおくんち。おくんちとは元々、無病息災、五穀豊稔を、神様に感謝するもので、今も朝倉市ではその伝統を大切に守り続けています。

春は泥打祭り、夏は志波や久喜宮、甘木の祇園山笠、秋はおくんちのほかに秋月の観月会、冬にはおしろい祭りや甘木バタバタ市というように、それぞれの季節の到来を思わせるお祭りに参加すれば、肌で四季の移ろいを感じることができます。祭りで地元の人々と顔を合わせるたびに、そういった営みが地域の絆を深めているのだと、心に染み入るはずです。

祭事、行事が多いゆえに、朝倉市にはほかの地域ではお目にかかれないような珍しい祭りが存在します。その一つが阿蘇神社で3月末に行われる泥打祭り。氏子の中からおみくじによって選ばれたその年の代宮司は、境内の「神の座」につき、大きな盃で酒を飲みます。

氏子たちは合図とともに泥土を塗りつけ、代宮司はその泥土がついた状態で両脇を抱えられながら、地区はずれにある道祖神まで歩いていきます。その道中でも泥土を投げ付けられるのです。代宮司の体についた泥が多いと、その年は豊作であるといわれています。

大山祇神社で毎年12月に実施されるおしろい祭りも記憶に残ること請け合い。粉にした新米を水でとき、顔に塗る行事で、昔から近隣の農家、氏子の繁栄、五穀豊稔を祈願する全国でもほかにない奇習とされてきました。

ほかの地域では体験できないユニークな伝統行事もまた、朝倉市の魅力なのです。四季折々の祭事、行事に出掛けてみてください。

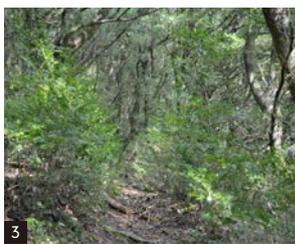
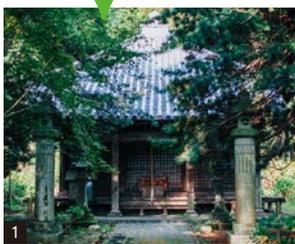
Various types of festivals and events are held throughout the year in Asakura. One of them is called Okunchi. Autumn Okunchi festivals are held in several districts in the city, which include Minagi Okunchi and Hinashiro Okunchi. Okunchi festivals are originally for giving thanks to sound health and bumper crops. Asakura still keeps the tradition. Dorouchi Matsuri (a mud festival) in spring, Gion Yamagasa (festivals with floats) in the Shiwa, Kugumiya, and Amagi districts in summer, Okunchi and moon-viewing events in autumn, and Batabata Ichi (an open-air market) and Oshiroi Matsuri (a face paint festival) in winter reminds people of the arrival of the seasons. Participants can feel the transition of the four seasons on their skin. There are rare festivals that are unusual in other areas. Come and enjoy these seasonal festivals and events.



左/朝倉地域の総社で、応神天皇、斉明天皇、天智天皇が祭られている恵蘇八幡宮。本殿裏の最高所には円墳2基があり、朝倉橋広庭宮で崩御した斉明天皇を仮に葬った陵墓とする伝承があります。右/朝倉市には巨木や名木が点在。多くは寺社仏閣のそばで寄り添うように年月を重ねています。写真は隠家森と呼ばれる樹齢1500年の大楠。国指定天然記念物で、関所があった頃に関所を通れない人々が夜まで身を隠したことから現在の呼び名がつけました。

Left/ Eso Hachimangu is a shrine in Asakura enshrining several gods Emperor Ojin, Emperor Saimei, and Emperor Tenji. Right/ The 1,500-year old giant camphor tree is called a hideout forest. This name was given in the age of feudalism when there was a checkpoint, people who could not pass through the checkpoint hid under the camphor tree until night.

Excitement Spot



- 1/鎌倉時代末期、聖武天皇の勅願をうけた行基によって創建された普門院。
- 2/市指定無形民俗文化財の甘木盆俄。
- 3/古処山には原始林の8割以上をツゲが占める全国的にも珍しいツゲ林が広がります。このうち約12haが国の特別天然記念物に指定されています。
- 4/三奈木くんちの御神幸行列の様子。
- 5/放置した粥のカビの生え具合や色具合で農作物の豊凶や天候を占う粥占い。



Old temples, traditional events, and skits as a city-designated intangible folk cultural asset still remains in Asakura. Asakura ensures that unique views, such as a Japanese boxwood forest, which cannot be seen in other areas will impress visitors.

感動を受け取る朝倉スポット

わたしと朝倉

美奈宜神社 宮司
内藤主税さん

お祭りとは
感謝なのです

伝統は誇りとともに
伝承されていくことが
必要です



「蟬城くんち」の獅子舞はこの場所に500年以上も息づく伝統行事です。私が考える伝統とはつまり誇り。獅子舞においてもその演目を一人前にこなせるまでに3年以上を要します。難しいからこそ、受け継ぐものの誇りとなる。その誇りこそが、見物人たちの心を打つのだと思っています。ただし、文化の伝承は無理強いしてはいけません。心から受け継ぎたいという心が大切です。実は地元の中学校では1年生のときに伝統文化について学校で学ぶ機会があります。そういう場を作ることも、私たち先人の役目なのかもしれません。



The shishimai featured by Hinashiro Okunchi, a famous festival of the shrine, is a traditional event that has been continuing here for more than 500 years. It takes more than three years for a person to become an expert in the shishimai performed here. It is difficult to become an expert and that is the reason shishimai performers are proud of their dance and their performance impresses the spectators. The important thing is not to force others to inherit the culture. It is necessary to hand down the tradition from generation to generation to those who heartily want to inherit it.





ちの
茅野アナリシアメグミさん

ブラジル生まれ、ブラジル育ち。18歳のときにソフトボールの留学で福岡へ。その後、愛媛、沖縄、東京などで暮らし、2016年7月に愛知県から朝倉市へUターンした。現在は朝倉市に移住。ゲストハウス開業が夢。

Ms. Megumi Anarishia Chino

いまいずみ さち
今泉早智さん

福岡県出身。茅野さんとともに農業を取り入れたゲストハウスの開業を志し、2016年7月に愛知県から朝倉市へUターンした。現在は実践的に農業を学ぶ日々を過ごしている。

Ms. Sachi Imaizumi

たかだ しんぺい
高田晋平さん

福岡県出身。2002年から木彫りの面白さを知り制作をスタート。2009年に朝倉市へ移住。ギャラリー兼ショップの「古今+ (ここんたす)」をオープン。<https://www.ccn-t.com>

Mr. Shinpei Takada

にしもり まさと ときこ
西森正人さん、時子さん

2003年、定年を機に千葉県から朝倉市へ移住。元々、正人さんは転勤族。緑もゆかりもなかったが、印象のよかった福岡を選ぶ。地域のサークルにも積極的に参加し、多忙な日々。

Mr. Masato Nishimori
Ms. Tokiko Nishimori

人に近い

移住者 対×談

あたたかさがつながる穏やかな暮らし

豊かな水、食がある場所には必然的に人も集まります。朝倉市は県内はもちろん、県外からの移住者も多く、そんな人々もあたたかく迎え入れる土壌があるのです。例えば、何代にも亘って暮らす人々にとって当たり前風景も、移住者たちの目には新鮮に映ることも珍しくありません。朝倉ライフをスタートした5人の方々に話を聞きました。

Asakura is a city with many residents who came from outside the prefecture as well as from other areas in the prefecture. Five migrants talk about their lives in Asakura.



それぞれの思いを胸に 朝倉市での新生活。

——みなさんは何がきっかけで朝倉市に？

高田さん(以下高):木作家として活動し、ギャラリー兼工房の「古今+」を小隈で営んでいます。ここに移住する前は筑後市で暮らしていました。より創作活動に打ち込めるようにしたかったのと、展示場も構えたいと思っていたので、静かで、穏やかな環境を求め、朝倉市を選んだんです。

西森正人さん(以下正):妻の時子(以下時)と一緒に朝倉市に移住したのは平成15年ですね。かれこれ朝倉市で暮らし始めて14年も経ちました。朝倉市について、随分と詳しくなってきたと思います。

時:以前、仕事で福岡に暮らしていたのも大き

いですね。自然がたくさんあって、ここでの楽しい生活がすぐにイメージできました。

正:私はずっと通勤族だったので、日本中、いろいろと見てきました。そんな中、人があたたかく、食べ物が新鮮でおいしく、暮らしやすいという点からも、福岡に惹かれていたんです。定年を機に、美奈宜の杜で暮らすことになったのですが、その印象は変わらないどころか、さらに強くなりましたね。

茅野さん(以下茅):私は今泉(以下今)さんと一緒にゲストハウスを始めるため、同時期にもに移住してきました。

今:ただ、ゲストハウスの開業はもう少し先になりそうです。当初から農業も取り入れたゲストハウスにしたいと思っていたので、現在は農業の勉強をしています。

茅:現在、育てているのが小松菜や春菊、ほうれん草、大根ですね。今泉さんと一緒に、農園に勤めながら、学ばせてもらっています。

と何の不自由もなく、とても快適な生活ですよ。ただ、電車はもう少し運行本数があるとさらに暮らしやすくなりますね。

正:交通のアクセスは確かに良いですね。甘木鉄道もあり、高速道路の便も良い。道路も広いです。例えば空港へ行こうと思った際には最寄りインターから車で30~40分くらいでしょうか。そういった意味でとても便利が良いのは事実です。電車などの交通機関については待ち時間が都会に比べるとちょっと長いということですかね。

時:やっぱり自然が多いということですかね。自然が多い!水が豊富!と感激したのを覚えています。近くで売っている野菜の美味しさにも感動しましたよ。安いですね。

正:今暮らしている美奈宜の杜エリアは、私たち同様、定年後に来られた方が多いんです。周りも移住者ばかりだったという点はすごく心強かったですね。同年代が近くに暮らしていると安心感があります。

茅:確かに移住者は増えている印象があります。だからでしょうか、朝倉市民の方々はとてもフレンドリーで、“開いている”感じがしました。実際、モノをたくさんいただきます(笑)。夏はトマトやキュウリ、ズッキーニをもらって、すごく嬉しかったですね。お肉くらいしか買っていないかも。ご近所さんがドアノブに引っ掛けてく

実際に触れてみて 自然の豊かさに感動。

——朝倉市の第一印象は？

高:住んでいる場所が高速道路のインターへのアクセスが良く、学校も近くにあったため、現在の住まいを選びました。車中心の生活だ



ださっていて、そんな自然なやさしさがとても心に沁みました。

今:すぐに地域に溶け込めたような記憶がありますね。ご近所づきあいがあったという間に始まって、実際、自分が昔からここで暮らしているような感覚をおぼえます。

高:私も知り合いがいなくて、ポンと地域の中に入っていった感じになるんですが、野菜をいただいたり、声を掛けていただいたり、とにかくみなさんに気に掛けてもらっているという安心感があります。

繰り返される日常の中で暮らしやすさを実感。

——実際に暮らしてみても気が付いた魅力は？

正:とにかく楽しんでいる人が周りに多いところですかね。美奈宜の杜ではサークル活動も盛んで、テニス、卓球、ゴルフ、ヨガ教室というようにバラエティ豊かです。毎日が本当に忙しいと思えるくらい楽しんでいます。自分たちが暮らしているすぐそばに豊かな自然が広がっているんだということも実感できます。

時:まちがきれいに整備されていて、全体が



潤っています。田舎暮らしとは少し違って生活自体は上質なんです。そしてとても水がおいしいです。以前は鹿児島から天然水を取り寄せていたのですが、ここでは蛇口をひねって出てくる水がおいしいので贅沢です。

高:田舎らしさというのはちゃんとありますよね。なんというのか、インフラが整っていないという意味ではなく、人の心、内面の話です。例えば、中学生くらいになると、ちょっと構えていたりすると思うんですが、移住してきて、道行く中学生のほうから「こんにちは」と挨拶された時には、感動すら覚えました。学校の生徒数が都心に比べてやや少なく、先生の目が行き届いているのかもしれないなと思いましたよ。

今:田舎らしいのどかな景色に囲まれた暮らし

をしているながら、少し車を走らせるだけで、ちゃんとまちもあるんです。自分のペースで暮らしているなと実感しています。

思いがけない楽しさ、退屈しない日々。

——朝倉市ならではのユニークな体験をしたという話を聞きました。

正:そうなんです、野生のシカにばったり出会ったものすごく驚きました。ほかにも、イノシシ、ウサギ、本当にいろんな動物を見ましたよ。

茅:私たちもシカを見かけましたよ。しかもバーベキューにお呼ばれをしたとき、鹿肉を食べさせてもらったんです。

今:焼いたらクセが出てしまうから、一番おいしい食べ方は生肉だと。これも貴重な経験ですね。

高:食べてみると馬刺しのようなんですよね。塩も良いですが、醤油につけて食べるのが美味しくて。

一同:(笑)

——シカの話でこれほど盛り上がるというのもすごいですね！



茅：こういう経験をさせてもらったのも、地域の一員になれたからなのかなと思います。私は地域の運動会に参加してみたこともありますよ。

今：そうやって地域のみなさんとつながりができるように、顔を出してみるって大切なんだなと思いました。

——みなさんが生き生きと生活されていることは良く分かりました。

時：四季折々で出会える景色も変わりますからね。例えば朝倉市は甘木公園の桜も有名で、それはもう、見事な風景が広がりますよ。また、市内には多くの名所旧跡があって、楽しんでいきます。



正：初夏になれば山地のほうではホテルが觀賞できますし、秋になれば秋月城跡の界隈が紅葉の名所になります。ここは春なら桜並木が続き、気に入っています。朝倉市は本当に風光明媚な土地ですよ。ここで暮らすようになって、日々のさまざまなシーンの中で季節の色に触れられるようになりました。

高：私が暮らす場所は平野のほうですが、それでも秋に柿が実り、葉もオレンジ色になっていく様子を見て心が洗われたことがあります。

——日常が充実していますね。

正：見て美しい自然もありますが、食べておいしい自然もあります。私は趣味で野草や山菜などを採っているんですよ。例えば春になればタケノコやたら芽、秋になると山栗というように、季節の味覚に触れるのも毎年の楽しみになっていますよ。

今：自然が身近にあるだけで、多くの喜びがありますよね。

Feeling the ease of life in everyday life

Mr. Takada selected Asakura in search of a quiet and calm environment. Mr. and Ms. Nishimori saw various areas in Japan, they have been attracted by Asakura among them for its rich nature, warm people, and delicious food. Ms. Chino and Ms. Imaizumi moved to Asakura in order to open guesthouses. Currently, they are studying agriculture. They moved for various reasons, and all of them feel the ease of living in Asakura. There is an expressway interchange and Asakura has good access. It is a convenient and comfortable city if you have a car. They were impressed with the abundance of nature and water. Circle activities in a wide variety, including tennis, table tennis, golf, yoga, are active in the Minagi no Mori area. It seems that many people think that the town is well maintained. It means that it is easy to live in Asakura, where infrastructure is developed while the advantage of good rural life is maintained.

An unexpected pleasure Everyday life is not boring

"I came across a wild deer and was quite surprised. In fact, I can see various animals, such as boars and rabbits," says Mr. Nishimori. Ms. Chino was invited to a barbecue by local folks and she had a chance to eat venison. She says it was like horse meat sashimi and delicious with soy sauce. It is unique that they share such unusual experiences. Ms. Imaizumi says that he had these unusual experiences because he was accepted by the community and recognized as a community member. Mr. Nishimori says that it is necessary to have a proactive attitude to have connections with the local community, which include his participation in local sports events. When people are settled in the area, they will be able to see the surroundings very well. They are deeply moved by seasonal changes in views. Everyone says that Asakura is a scenic area throughout the year where people can see cherry blossoms in the spring, fireflies early in summer, and red leaves in autumn.

撮影協力 [共星の里]



廃校となった黒川小学校の校舎を利用した美術館。ここでは、国内外のアーティストを奔放に混在させ、正解のないアートを自由な感性と、あたたかい心で発信しています。館内には喫茶コーナーもあり、気軽に訪れることができます。構えず、ふらりと立ち寄ってみてください。

Photographing in cooperation with Kyouseinosato

This museum utilizes the facilities of Kurokawa Elementary School, which was already closed down. There is a tea parlor inside, where you can feel free to visit for a cup of coffee.



子育てを支える、 思いを支える。



さまざまなサポートで子どもたちの成長を見守る。

安心な環境で子育てを。

次世代を担う子どもたちは、家族だけでなく、地域にとっても宝です。

朝倉市では、子育てに関する不安や負担を少しでも取りのぞくため、多様な働き方や暮らし方に合わせた子育て支援、そして保育サービスの充実に取り組んでいます。

その一つが市内3カ所にある子育て支援センターです。ここでは、育児に関する不安や悩みを専門員に相談できるほか、育児講座や親子で楽しめる催しもあります。

そのほか、「子育てのお手伝いが必要な人」と「お手伝いができる人」とをつなぐ「ファミリー・サポート・センター」など、地域全体で子育てをする仕組みがあります。

市内には16の保育所、15の学童保育所があ

ります。ほかにも、病気の回復期などで、昼間家庭で育児ができない場合に一時的に預かる病後児保育もあり、働きながら子育てをする世代を心身ともに支え、応援しています。

また、朝倉市では子ども医療費の支援と合わせ、1歳から中学生までを対象にインフルエンザ予防接種料金の助成を行い、子育て世代の経済的な負担軽減に努めるほか、産前産後の親を対象とした各種教室や相談会なども開催しています。

学校教育では、自ら学び、考える力などの「生きる力」の育成を基本として、確かな学力、豊かな心、健やかな体という「知・徳・体」がバランス良く育まれていくような教育を目指しています。そして、異なる学年での交流、地域交流も推進。年齢や性別の分け隔てなくコミュニケーションがとれるような社会性の育成に力を入れています。

Asakura is working on childcare support and nursing care services for the diverse work styles and lifestyles of people. There are three child care centers, 16 nursery schools, and 15 schoolchild care centers. The city has a completed mechanism to raise children.



自然に挨拶ができること、誰とでも仲良くなれること。簡単なようでなかなか難しいものです。保育所や小学校で元気いっぱい遊ぶ子どもたちは、あたたかい大人たちの目によって、まっすぐに成長しています。

根底にあるのは、誰にとっても暮らしやすい街づくり



自助・共助の精神

「自分たちのことは自分たちで守る。自分たちの地域は自分たちで守る」という自助・共助の精神のもと、例えば木々に囲まれた山あいの地域、また、筑後川沿いの開けた地域というように、市内においても大きく環境の異なる地形や土地の特色に合わせた仕組みづくりを行っています。避難訓練をはじめ、災害時に備えた要支援者リストの作成、日頃の見守り活動を地域で担うことで、自助・共助を支えています。

Citizens' voluntary activities are taking place to make Asakura a city that is easy for everyone to live. Disaster prevention activities, such as evacuation drills, to suit the features of the terrain and land, are conducted in each district. There are 17 district community organizations in the city, and various activities and events are carried out according to the character and history of each district.



特色ある17の地区コミュニティ

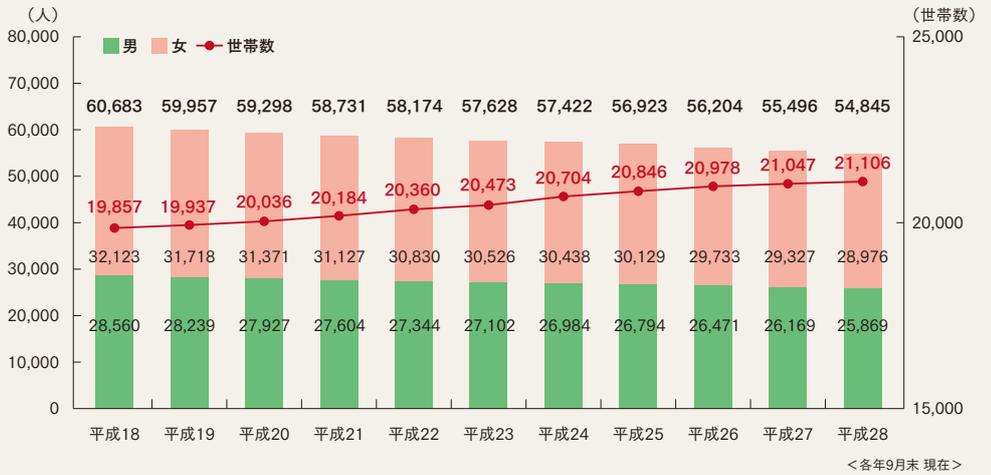
日常の中での出会いや多様な地域活動への参画を通じて、人と人との共同意識や信頼関係を築き、その上で、私たちが住む地域を自らの力で住み良くしていく。そのために住民自治組織として17の地区コミュニティが発足し、生涯学習、高齢者支援、自主防災、環境整備、健康増進・福祉事業の推進、伝統文化の継承などの特色ある活動が行われています。

数字で見る朝倉市

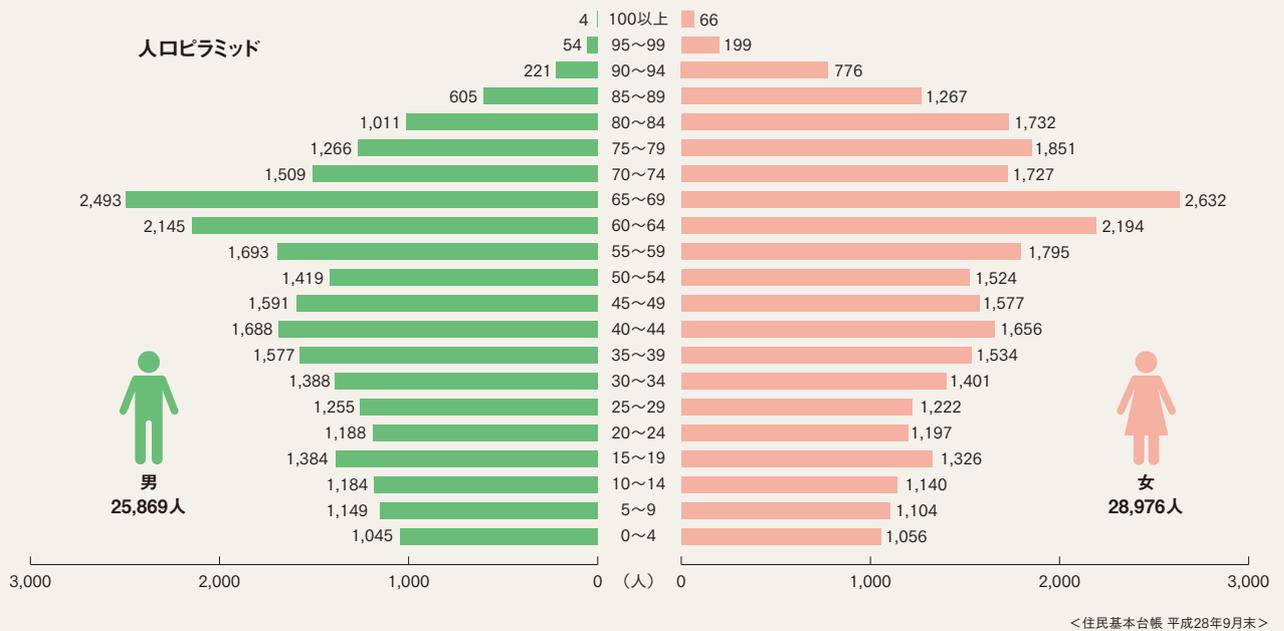
[人口]

朝倉市は平成18年に1市2町が合併しました。平成18年から現在にかけて、人口は緩やかに減少し、世帯数は増加しています。

人口・世帯数の推移



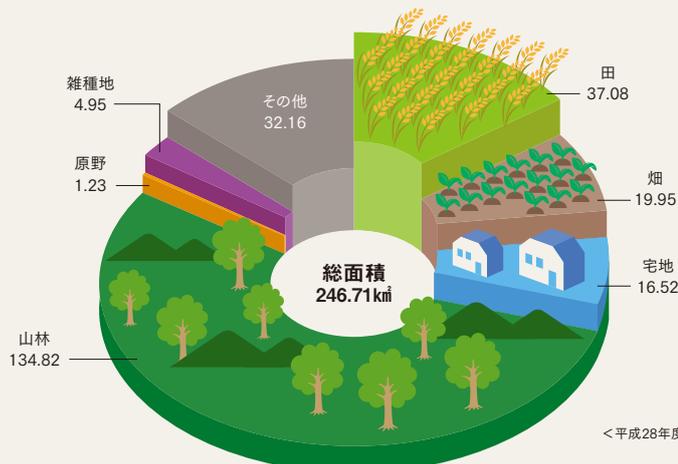
人口ピラミッド



[土地]

朝倉市の面積は、福岡県内で4番目の広さです。土地の半分以上が山林に覆われており、次に田畑と続きます。

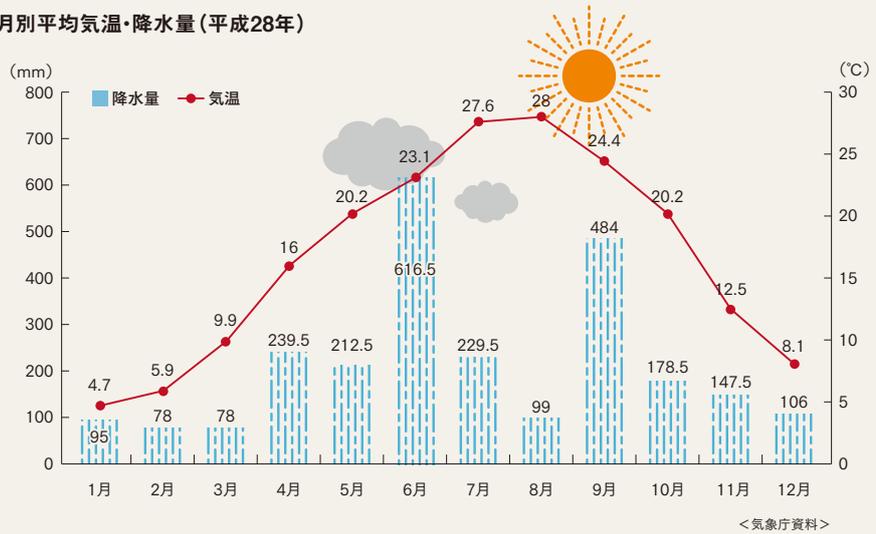
地目別面積



【 気 象 】

三方を山で囲まれ、寒暖の差が大きい気象状況が特徴です。

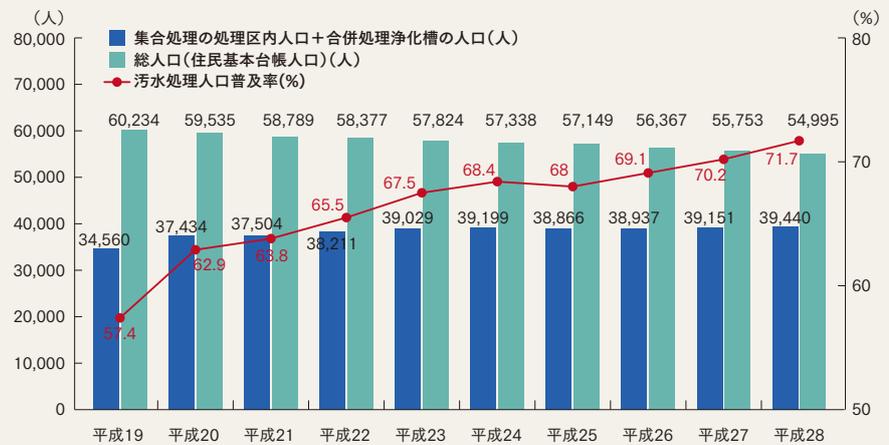
月別平均気温・降水量(平成28年)



【 居住環境 】

朝倉市では健康で快適な生活環境の確保や河川の水質保全のため、「朝倉市污水処理構想」に基づき污水処理施設の整備を行っています。現段階では平成37年度を整備完了予定年度としています。

污水処理人口普及率



生活するうえでは欠かせない、病院や診療所、子どもが健やかに育つための環境が整った保育所・幼稚園、小中学校が揃っています。

病院・診療所・介護サービス事業所数

病院	5
医科診療所	52
歯科診療所	33
介護サービス事業所	41

保育所、幼稚園、学童保育所、小・中学校、高校数及び人数

	数	人数
幼稚園	5	384
小学校	14	2,644
中学校	6	1,456
高校	3	1,770

	数	人数
保育所	16	1,415
学童保育所	15	504

<平成28年5月1日>

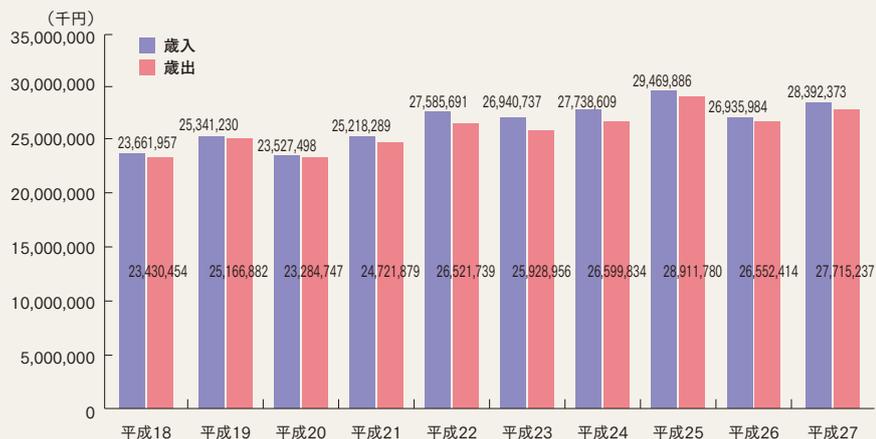
<学校基本調査 平成28年5月1日>

【 行財政 】

<平成29年度当初予算の主な事業>

- 学生消防団員奨学金給付事業
市内から大学に通学し、消防団に加入する学生に奨学金を給付
- 孫育て支援事業(祖父母手帳活用)
核家族や共働きの世帯において、支援を期待できる祖父母世帯に祖父母手帳を配布し、子育て世帯の支援を推進
- あさくら"夢"実現サポート(創業支援)事業
市内で創業する人を対象とした創業費用または店舗家賃補助
- 秋月博物館開館関連事業
平成29年10月オープン予定の秋月博物館開館に伴う費用
- 十文字公園整備事業
調整池整備工事等
- 庁舎建設事業
市庁舎建設に伴う設計等

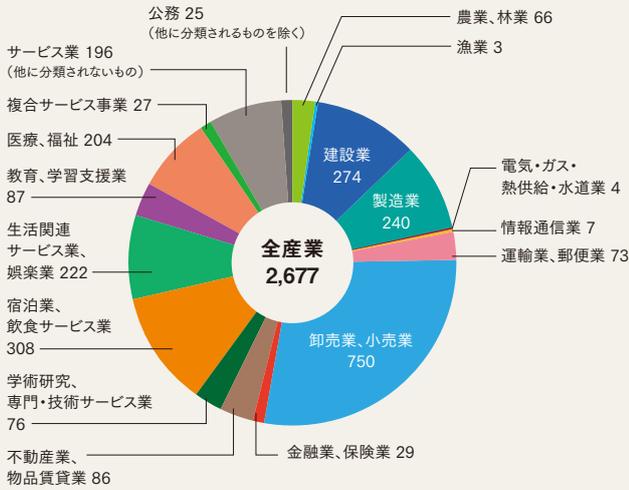
決算額の推移



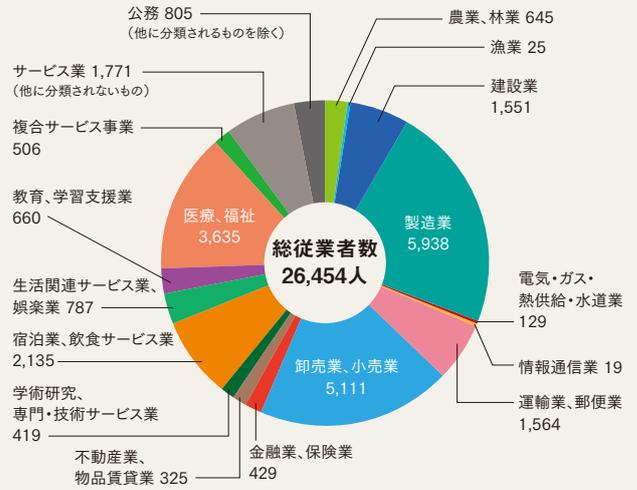
【事業所】

このグラフからは、朝倉市の産業の基本構造を読み取ることができます。
 従業者数には、市外から朝倉市に働きに来ている人の数も含まれています。

産業別事業所数



産業別従業者数



<平成26年経済センサス・基礎調査>

【農業】

このグラフからは、朝倉市内の農家数や、農家が経営する耕地の面積、朝倉市内で栽培されている農作物を読み取ることができます。

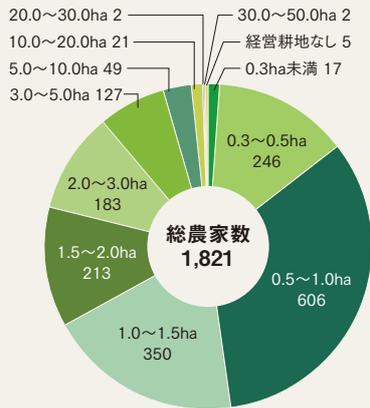
総農家数



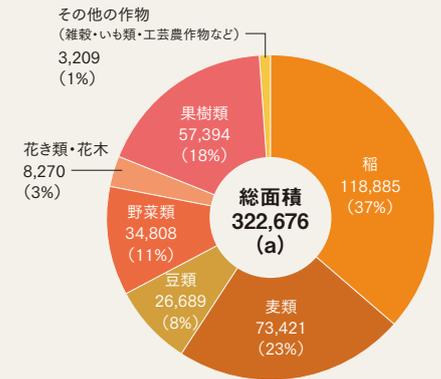
販売農家農業就業人口



経営耕地面積規模別農家数 (販売農家)



販売目的で作付け (栽培) した作物の類別作付 (栽培) 面積



果樹作付 (栽培) 面積TOP3



野菜作付 (栽培) 面積TOP3

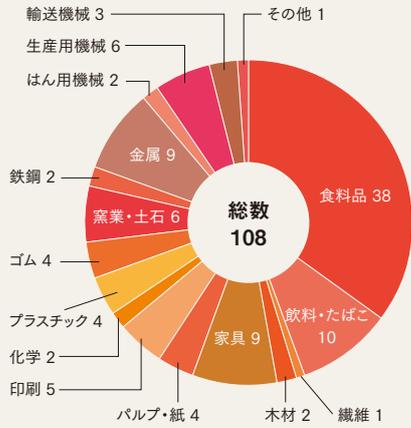


<平成27年農林業センサス>

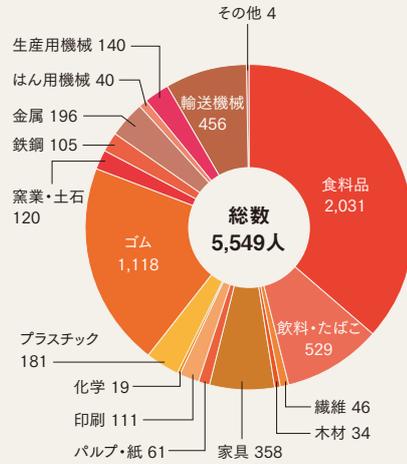
【工業】

このグラフからは、朝倉市内の工業における事業所数や従業者数、出荷額などの基本構造・分類を読み取ることができます。従業者数には、市外から朝倉市に働きに来ている人の数も含まれています。

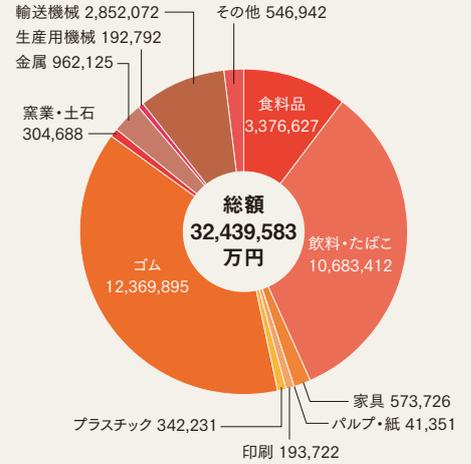
産業中分類別事業所数



産業中分類別従業者数



産業中分類別製造品出荷額

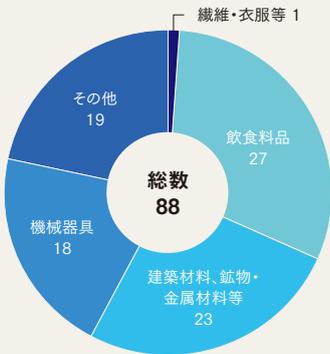


<平成26年工業統計調査>

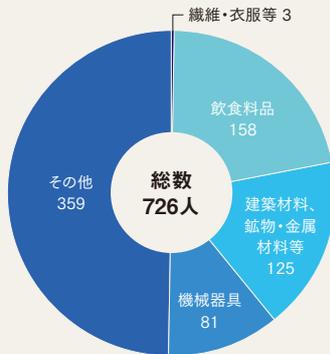
【商業】

このグラフからは、朝倉市内で商業を営む事業所数や従業者数、販売額などの基本構造・分類を読み取ることができます。従業者数には、市外から朝倉市に働きに来ている人の数も含まれています。

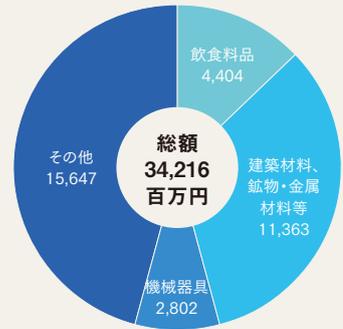
産業分類小分類別事業所数(卸売業)



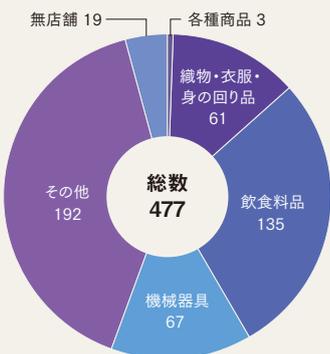
産業分類小分類別従業者数(卸売業)



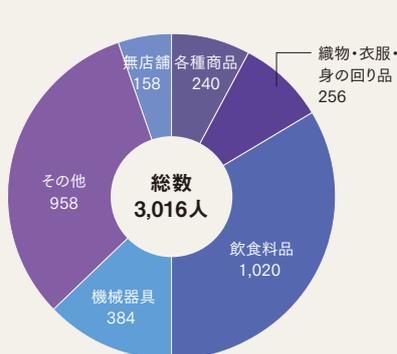
産業分類小分類別年間商品販売額(卸売業)



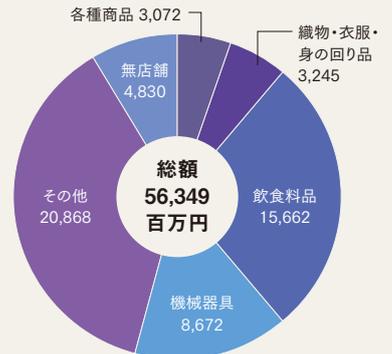
産業分類小分類別事業所数(小売業)



産業分類小分類別従業者数(小売業)

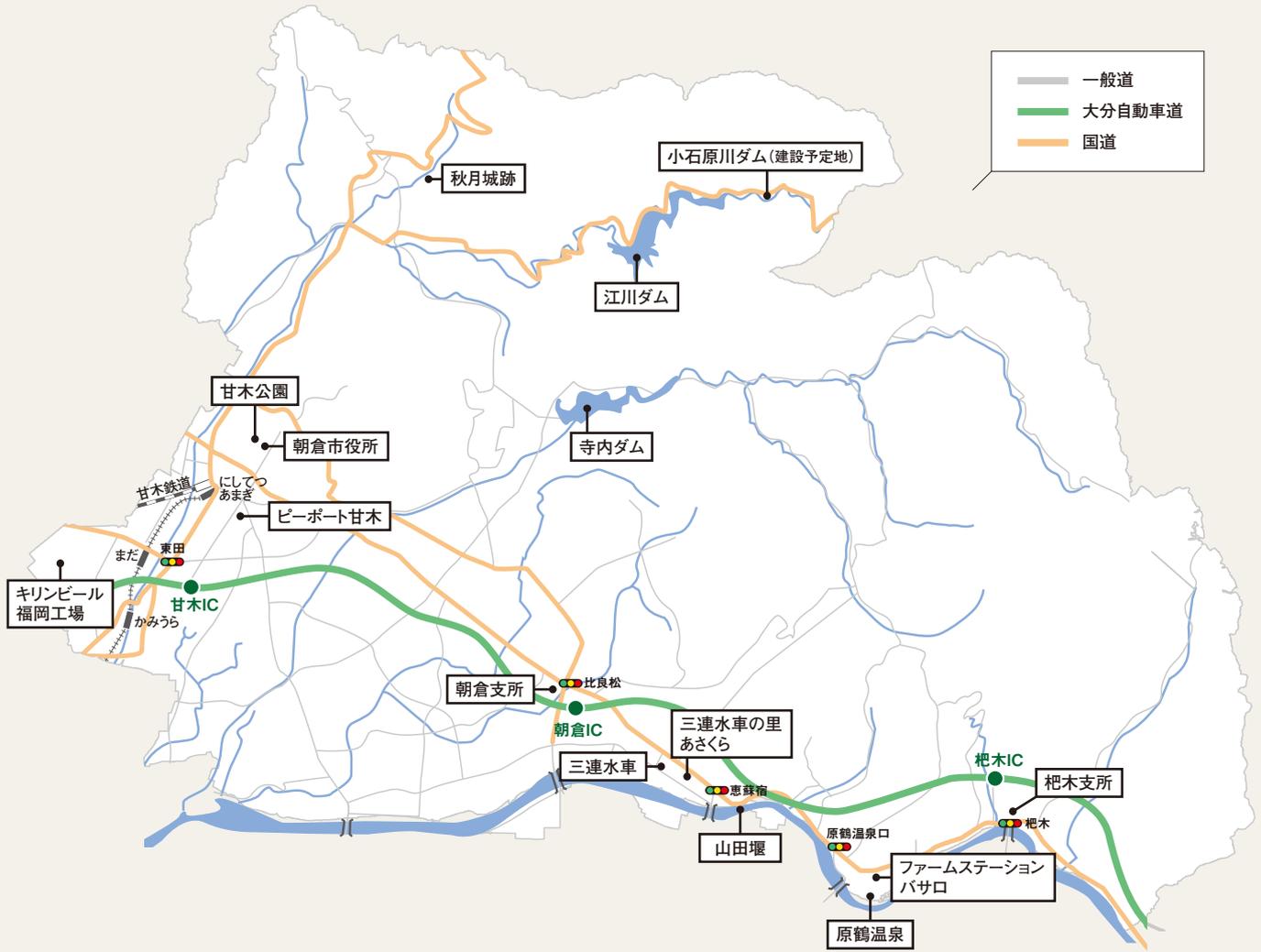


産業分類小分類別年間商品販売額(小売業)

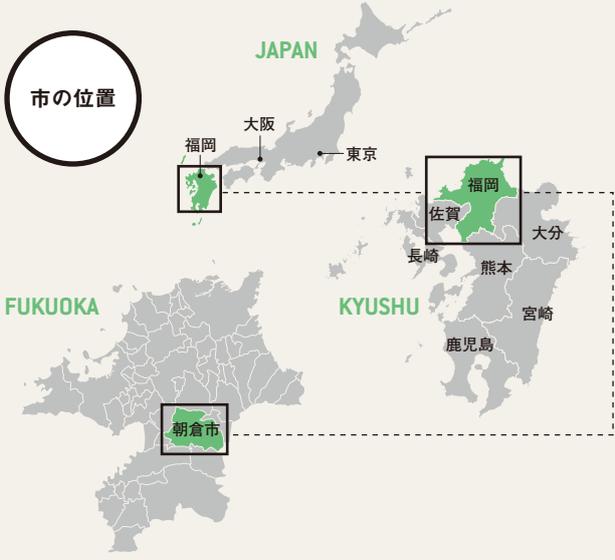


<平成26年商業統計調査>

朝倉市の概要



市の位置



市へのアクセス

車で〈甘木ICまで〉

博多駅から	約40分
久留米駅から	約30分

新幹線・鉄道で〈甘木鉄道甘木駅まで〉

東京から	約6時間
大阪から	約3時間30分
博多駅から	約1時間

市のデータ

面積：246.71km²
 人口：54,845人(男 25,869人 / 女 28,976人)
 世帯数：21,106世帯
<住民基本台帳 平成28年9月末現在>

飛行機で〈福岡空港 - 高速バスで甘木ICまで〉

東京から	約3時間
大阪から	約2時間10分

市章



朝倉市の頭文字AとSを図案化し、グリーンは山野をブルーは川を表現しています。2つのカーブは朝倉市民の融和と協調を、三角は朝倉市民の発展を意味しています。

市民憲章

私たちの朝倉市は、恵まれた自然と悠久の歴史に抱かれています。このまちがより一層輝きを放つために、一人ひとりが自覚を持ち、身近にあるたくさんの素晴らしいものに気づき、これを活かしながら、新たな未来を拓いていくことを願いつつ、郷土への愛をこめてこの憲章を定めます。

- 1. 水と緑を守り、文化と歴史に学びながら、魅力ある新しいまちをつくります。
- 1. 平和を愛し、人権を尊び、かけがえない命を大切にするまちをつくります。
- 1. 仕事に励み、健康に心がけ、生きがいと安らぎに満ちたまちをつくります。
- 1. 自ら学び模範となり、子どもたちの健やかな心と夢を育むまちをつくります。
- 1. 共に支え助け合い、地域一丸となって、安全・安心なまちをつくります。

市の花

ヒマワリ



コスモス



サクラ



市の木

クス



イチョウ



ツゲ

